

【茨城県笠間市 と 栃木県矢板市】 姉妹都市包括交流連携に関する協定を締結しました

姉妹都市である笠間市と矢板市(栃木県)は、「笠間市・矢板市姉妹都市包括交流連携に関する協定」を締結しました。

今後、笠間市の栗や矢板市のりんごなどの特産を通じた産業の交流をはじめ、さまざまな分野での連携を強化していきます。



もりしまたけよし やまぐち しんじゅ
(左から)矢板市 森島 武芳 市長、笠間市 山口 伸樹 市長

【笠間市と矢板市のつながり】

鎌倉時代に笠間城を築き上げた笠間時朝(かさまときとも)と、当時川崎城主であった塩谷朝業(しおのやともなり)が親子(塩谷朝業が親)であったことが縁で、昭和55年(1980年)7月23日に姉妹都市の盟約が結ばれました。

【締結式について】

- ・期日 7月29日(水)
- ・会場 矢板市内
- ・出席者 笠間市 山口 伸樹 市長、畑岡 洋二 市議会議員
矢板市 森島 武芳 市長、宮本 莊山 市議会議員、ほか両市関係者

【今後の連携について】

両市の道の駅での特産品販売等による産業交流、城跡等を活用した歴史文化交流などで連携を強化していきます。